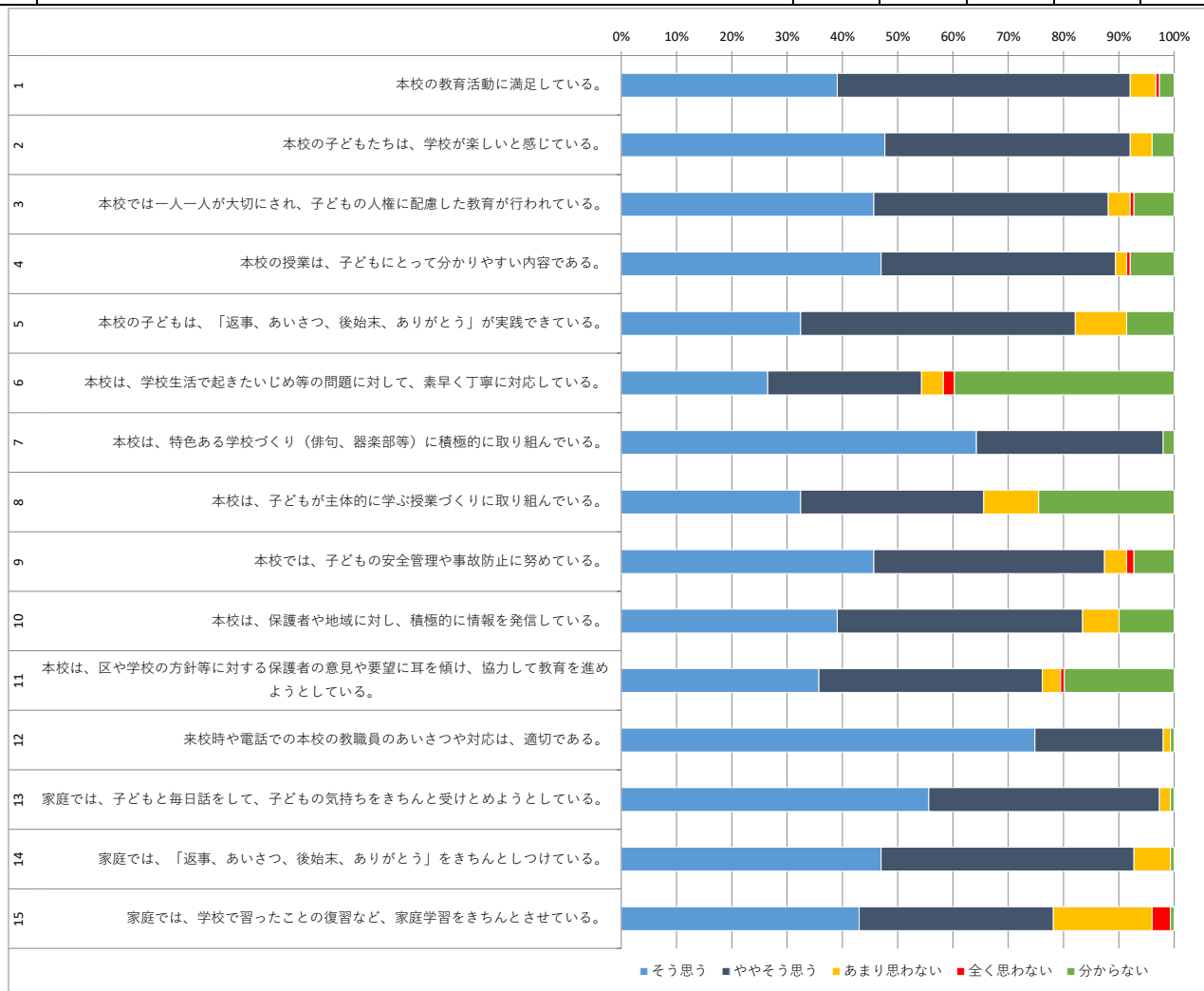


令和五年度学校評価（保護者） 配布数(家庭数) 279 回収数151 回収率54%

NO	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	分からない
1	本校の教育活動に満足している。	59	80	7	1	4
2	本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	72	67	6	0	6
3	本校では一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	69	64	6	1	11
4	本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。	71	64	3	1	12
5	本校の子どもは、「返事、あいさつ、後始末、ありがとう」が実践できている。	49	75	14	0	13
6	本校は、学校生活で起きたいじめ等の問題に対して、素早く丁寧に対応している。	40	42	6	3	60
7	本校は、特色ある学校づくり（俳句、器楽部等）に積極的に取り組んでいる。	97	51	0	0	3
8	本校は、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	49	50	15	0	37
9	本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	69	63	6	2	11
10	本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	59	67	10	0	15
11	本校は、区や学校の方針等に対する保護者の意見や要望に耳を傾け、協力して教育を進めようとしている。	54	61	5	1	30
12	来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。	113	35	2	0	1
13	家庭では、子どもと毎日話をして、子どもの気持ちをきちんと受けとめようとしている。	84	63	3	0	1
14	家庭では、「返事、あいさつ、後始末、ありがとう」をきちんとしつけている。	71	69	10	0	1
15	家庭では、学校で習ったことの復習など、家庭学習をきちんとさせている。	65	53	27	5	1



【データの分析】

・ほとんどの項目で引き続き肯定的な意見の割合が大きい。これは、児童の学校評価の結果からも学校の取り組みに一定の理解が得られているとともに、取り組んでいる内容も家庭に伝わっていることが分かる。引き続き、家庭の協力を得ながら指導を進める。

・「2、4、11」については、昨年より肯定的な意見の割合が増加した。児童のアンケート結果でも肯定的な意見が増加していることもあり、学校全体の指導が保護者にも理解を得られており、ある程度の成果が見られると捉えられる。今後も教職員一同で指導を続けていく。

・「6」について、問題への対応は人権的配慮もあり、ケースごとに個別対応をしているので、「分からない」の回答は多い。しかし、昨年度よりも対応に否定的な回答が増えている。今後も学校生活における様々な問題に組織的に対応できる環境作りと実践を積み重ねていきたい。

・「1」「7」については、99%以上の保護者から肯定的な回答を得ている。これまでの児童を主体者とする授業研究や器楽部や俳句での取り組み成果を今後の実践でも活用しながら教育活動を推進していく。